

9月定例記者会見会議録

平成28年9月5日（月）午前10時～
伊賀市役所2階第3会議室

1. 市長からの発表

皆さんおはようございます。

9月に入りました。市内では8月下旬から、稲刈りの風景が見られますが、台風12号の進路も気になるところです。

さて、本日の定例記者会見で、私からの発表は4件です。

はじめに、「京都定期観光バス「伊賀・甲賀 忍者の里めぐりと伊賀牛の昼食」コースの運行」についてです。

京都市に本社がある京阪バス株式会社の定期観光バスのコースとして、新たに「伊賀・甲賀 忍者の里めぐり」が運行されることになりました。

これは、一昨年、京都市で開催された「日本酒サミット」の折に、京都市の門川市長と私と面談する機会があり、京都との観光の連携について話をしたのがきっかけとなります。門川市長のお力添えもあり、今年の2月には、京阪バスの役員の方に、伊賀市へお越し頂き、私も市内の観光案内などさせて頂きました。京阪バスでは、京都市内の定番観光地を中心に組んでいた従来の定期観光バスの多面的な展開として、彦根城や天橋立、奈良など京都市内から日帰りで行ける観光地を巡る試みに取り組まれています。

そんな中で、「ちょこっとプレミアム、忍者編」と題し、伊賀と甲賀の忍者を巡るコースが計画されました。

今回は、定期観光バスのメインターゲットである50代から60代の女性向けとして、試験的に9月の1月間、毎週水曜日、7日、14日、21日、28日の4回運行されます。

伊賀流忍者博物館や甲賀流忍者屋敷、くすり学習館を見学いただき、昼食は伊賀市内で伊賀ブランド「IGAMONO」の伊賀牛を召し上がっていただくコースとなっています。

私も、初回便となる7日の水曜日の到着時に、お越しいただいた皆さんをお出迎えしたいと考えています。

なお、今回は試験的に1カ月間に限って運行されますが、今後は城下町散策はじめ、「伊賀焼」や「くみひも」といった伝統工芸品、伊賀牛や和菓子などの食をテーマにコース設定をしてもらえるよう、京阪バスとも連携していきたいと思っております。

2つ目は、「平和の集い」の開催についてです。

「平和の集い」を9月10日の土曜日に、伊賀市文化会館で開催します。

我が国は、昨年、戦後 70 年を迎えました。遺族の高齢化が進む中で、戦争の悲惨さを、次の世代にも語り繋げたいという遺族の方の思いがあります。また、市も同様の考えを持っています。

このことから、昨年まで 5 月に開催していた戦没者追悼式に、次世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的とした内容を加えたものに変更し、実施するものです。

第 1 部で戦没者追悼式を、第 2 部では市内小学生、中学生及びその保護者に参加を呼びかけ、「伝えたい戦争のこと」と題し、伊賀市遺族会の会員の方から戦争にまつわる体験等を語っていただくほか、私も、原爆詩や戦争体験記の朗読をします。

なお、9 月 10 日の土曜日の、第 1 部は午後 1 時 30 分から、第 2 部は午後 3 時からの開始となります。

また、文化会館内のホワイエでは、非核平和推進中学生広島派遣事業に参加した生徒による、派遣記録の展示や、折り紙コーナー、戦争体験の DVD 放映も行い、戦争の悲惨さと、平和の尊さを、市民みんなで考えたいと思います。

3 つ目は「消防新庁舎の竣工式」についてです。

伊賀市の防災活動拠点施設として整備を進めてきた消防新庁舎が完成、来る 9 月 28 日の水曜日に、竣工式を開催する運びと成りました。

この消防庁舎は、昨年 7 月から建築を進めていたもので、鉄筋コンクリート造 3 階建て、延床面積は庁舎棟、訓練棟その他合わせて、4, 8 3 7. 1 7 平方メートル。3 階の指令センター室の一部は、ダンパー式の免震床になっています。

当日は、午前 9 時 30 分から伊賀市緑ヶ丘東町 920 番地の消防新庁舎で行います。

竣工式には、地元衆議院議員や三重県知事はじめ、市議会など約 150 名の来賓の方をお招きし、庁舎玄関前でテープカットを行った後、3 階の研修室にて式典を。式典終了後に、施設見学、訓練施設を使った救助訓練の展示を行う予定です。

なお、消防新庁舎は、免震構造を一部採用するとともに、非常用発電設備、自家用給油取扱所、太陽光発電設備等も備えています。大規模災害の際には、消防防災機能を損なうことなく対応できる施設となっており、市民の安心・安全の確保が、また一歩進むこととなります。

4 つ目は「上野庁舎市民ギャラリー」の設置についてです。

市役所上野庁舎 2 階廊下の一部壁面に市民ギャラリーを開設しました。

市民の皆さんが作成した絵画などの作品を展示するスペースとして、また、伊賀市出身画家等の絵画の展示も併せて行っています。

これは、広く市民の皆さんに伊賀市の文化芸術活動を紹介し、市民文化の向上と文化芸術の鑑賞の機会を提供しようとするものです。

市民ギャラリーを利用いただくには、事前の使用許可申請が必要となりますが、使用料は無料で市民の皆さんに利用していただけます。

なお、使用に関しては、別に「市民ギャラリー使用に関する取扱要綱」を定めています。

お申込み等は、管財課へお願いします。

9月1日には、9月議会定例会が開会され、決算や補正予算、条例制定など、36議案を上程され、それぞれの委員会で審査いただくこととなっています。また、2日正午に締め切られた一般質問通告では、14名の方が質問の通告をされたとのこと。私が市政を預かり、4年間の成果や地域福祉、伊賀鉄道のことなど、8日からの一般質問で色々議論を重ねたいと思っています。朝夕は少し涼しくなりましたが、まだまだ暑い日が続いております。体調管理には十分気をつけていただきたいと思います。私からの発表は以上です。

2. 9月の主な行事予定

(1) 2016年9月 寺田市民館「じんけんパネル展」の開催について

(資料No.5)

日時：平成28(2016)年9月1日(木)～29日(木)

午前8時30分から午後5時

※9月7日(水)・14日(水)・21日(水)は午後7時30分まで延長

場所：寺田教育集会所 第1学習室

内容：「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」・「伊賀市人権尊重都市宣言」

主催者：人権生活環境部 寺田市民館 (電話：0595-23-8728)

(2) 2016年9月 いがまち人権センター「しらすぎ識字学級25年のあゆみ」 パネル展の開催について (資料No.6)

日時：平成28(2016)年9月6日(火)～23日(金)

午前9時から午後5時(平日のみ)

※9月16日(金)・21日(水)は午後7時30分まで延長

場所：伊賀町人権センターホール

内容：厳しい部落差別により奪われた「文字」を奪い返す取り組みについて

主催者：人権生活環境部 いがまち人権センター (電話：0595-45-4482)

(3) 市政を考える集いの開催について (資料No.7)

日時：平成28(2016)年9月10日(土)午後7時から午後9時

場所：上野ふれあいプラザ3階中会議室

内容：市の財政や公共施設の現状、今後の見通しの説明、策定中の第2次再生計画の概要、基本的な考え方を説明します。

主催者：伊賀市企画振興部総合政策課 (電話：0595-22-9672)

(4) 『図書館を考える』の開催について (資料No.8)

日時：平成28(2016)年9月17日(土)午後2時から午後3時30分

場所：上野図書館 2階 視聴覚室

内容：これからの図書館を考えるため、図書館の役割や重要性について講演会を開催します。

テーマ：「図書館と私」

講師：ライフネット生命保険代表取締役会長 でぐち はるあき 出口 治明 氏

主催者：上野図書館 (電話：0595-21-6868)

3. その他

【主な質疑応答の概要】

◎ウィッツ青山学園高等学校について

記者：現在進行中のウィッツ青山学園高等学校の改善計画について、9月中に全対象者に再履修を終了するというのが大変難しい状況であるとは思いますが、未履修者が残った場合に市長としてどうされるのですか。

市長：最終的な報告があった段階でその回答を見てからの判断となります。今の段階においては、しっかりと責任を果たしていただくようお願いするしかないと思います。未履修者がいたとして、どういう状況で未履修なのかを考えて対応を検討しなければなりません。

記者：未履修者で連絡が取れていない生徒は何人いますか。

担当：学校からの情報では十数名です。

記者：学校審議会に諮問されるのですか。

担当：その予定です。

◎伊賀南部クリーンセンター事故について

記者：火災について、管理者である名張市長に聞くべきですが、副管理者として見解をお願いします。

市長：しばしば様々なトラブルが発生していますので、根本的に管理体制、運営体制をしっかりと検証しなければならないと思います。今回の一番の問題点は消防への通報が遅れたことであり、その点の管理体制に問題があります。